

特集

科学技術で支える企業たち (2024)

セラミックス産業を

随想

物質探索

—基礎と応用研究のはざままで……………菅野 了次 151

特集

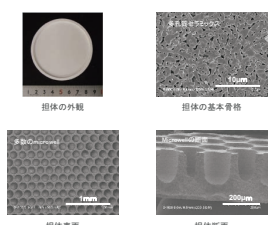
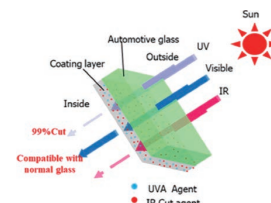
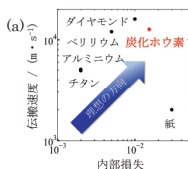
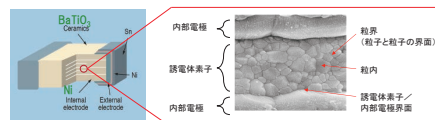
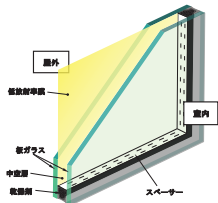
セラミックス産業を

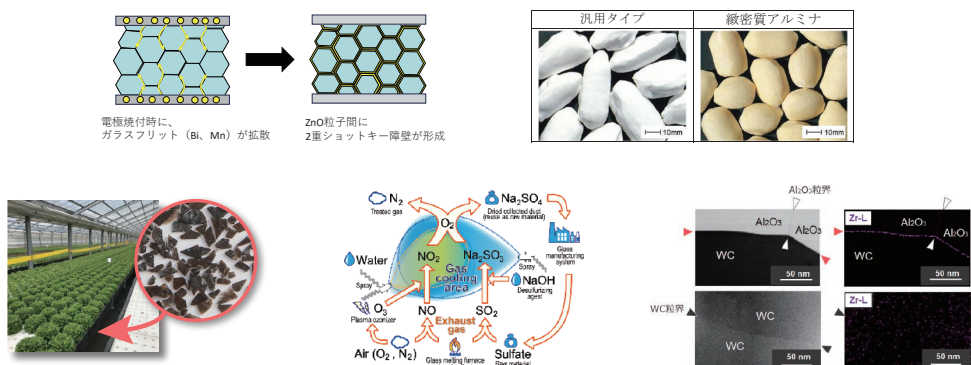
科学技術で支える企業たち (2024) 152

2023年3月号に続いて、セラミックス産業を支える「企業」に焦点を当てた特集の第2弾です。この特集企画の主たる狙いは、企業が開発・保有しているセラミックスに関わる「科学・技術」を具体的な製品を例示しながらご説明いただくことで、これらの企業がセラミックス産業、さらにはセラミックスを用いた製品を使用している他産業や一般消費者の生活を支えていることを会員の方々に広く紹介することにあります。それらに加えて、持続可能社会の実現に向けて、企業におけるSDGsやカーボンニュートラルに係わる取り組みや今後の方向性、さらには大学等でセラミックスに関わる学生に対して企業の研究開発の魅力を伝えるメッセージをご執筆いただいた記事もあります。読者の皆様にセラミックス産業を支えている企業の素敵な魅力が伝われば幸いです。

(特集担当委員：中村真紀・佐藤泰史・和田琢真・徳永竜二)

- サンゴバン・ティーエム株式会社
—ガラス工業炉用電鍍耐火物の製品開発……………杉山 寛 152
- 品川リフラクトリーズ株式会社
—耐火物：不均質を制御した高温産業を支える素材……………飯田 正和 156
- 株式会社村田製作所
—セラミックス技術で電子部品を支える企業……………久保寺紀之 160
- セントラル硝子株式会社
—スペシャリティ・マテリアルズ・カンパニーへ……………高松 敦・小原 芳彦・都築 達也 165
- 美濃窯業株式会社
—美濃窯業における製品開発の取り組み……………関根 圭人・大野 誠・竹内 紫保・泉水 良之・吉見 靖隆 170
- 日本板硝子株式会社
—ゾルゲル法によるガラスの機能化の取組……………河津 光宏 174
- クアーズテック合同会社
—クアーズテックにおける焼結セラミックスの気孔制御の取組み……………村田 征隆・深沢 祐司 178





- **パナソニック インダストリー株式会社**
 —雷・静電気から電気機器を守る
 日本発明の酸化亜鉛バリスタ—……………東 佳子・白井 良輔 182
- **TOMATEC 株式会社**
 —無限の可能性を秘めたガラス材料—……………秋友 勝 187
- **伊藤忠セラテック株式会社**
 —素形材産業の基盤を支える素材を生み出す企業—
 ……………脇田 健二・牧野 浩 190
- **UBE 三菱セメント株式会社**
 —セメント製造のカーボンニュートラルに向けた技術開発—
 ……………末益 猛・泉 達郎・松島 正明・後藤 卓・伊藤 貴康 194
- **日本特殊陶業株式会社**
 —持続可能な社会を支える高機能セラミックス材料の開発—
 ……………西 智広・光岡 健・勝 祐介・沖村 康之 199
- **日本山村硝子株式会社**
 —持続可能な社会への挑戦—……………辻 良太 203

新 研究室紹介

香川大学 材料物質科学領域 楠瀬研究室……………楠瀬 尚史 208



くろすろーど

単身でのアメリカ留学
 —ペンシルベニア州立大留学滞在記—……………前田枝里子 210



ほっと Spring

2023年ノーベル賞授賞式に参加して……………幾原 雄一 212
 北海道のやきもの文化を創造する施設
 —江別市セラミックアートセンターを訪ねて—
 ……………内沢 礼子 214



●2024 年年会 (熊本大学黒髪キャンパス)…………… 216

- Grain Boundary ～行事だより～ - 207 ●会務報告 - 217 ●会告 - 217
- 部会報告 - 219 ●トピックス - 220 ●求人 - 221 ●へんしゅうしつ - 222
- JCS-Japan vol.132, no.3, 2024 目次 - 後付
- 受講者募集 セラミックス大学 2024 (CEPRO2024) - 後付

表紙写真提供:

(大阪大学) 柴田健人・
 (大阪大学, 産業技術総合研究所) 篠崎健二・
 (産業技術総合研究所) 橘田晃宣
 (第48回 学術写真賞出品作品
 「 $\text{Na}_2\text{O}-\text{ZrO}_2-\text{SiO}_2-\text{P}_2\text{O}_5$ 系結晶化ガラスの結晶化過程」)



©公益社団法人日本セラミックス協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2丁目22番17号

電話 (03) 3362-5231 (総務・経理・会員窓口) 5232 (年会・秋季シンポ) 5233 (出版・書籍)

FAX (03) 3362-5714, E-mail: jim-ask@ceramic.or.jp, ホームページ https://www.ceramic.or.jp